

☆クイズ☆ わたしは だれ でしょう？

かざりほね



め



おぼね



ヒント♪ 頭にかざり羽がはえてるよ。
答えは正解の動物の近くに掲示しています。

獣医つれづれ日記 vol.13 ~フクロウのふーちゃん~

夏のある日、動物病院に持ち込まれたのは、保護されたエゾフクロウ。小学校の校庭でカラスにいじめられて弱っていたところを子供たちに助けられたそうです。「ふーちゃん」と呼ばれていたそのフクロウは、特にケガはなさそうでしたが、うまく飛べないようでした。果たして自然に戻せるか。

ふーちゃんはエサをしっかりと食べて養生し、ひと月後には病院のオリのなかで華麗に飛んでみせて、「もう平気！」とアピールしているようでした。「よし、それじゃあ。」と、ある日、森へ放しに行ったのですが…。勢いよく羽ばたいたふーちゃんは高く飛ぶことができず、あえなく不時着。病院に戻されたふーちゃんは屈辱の思いだったかもしれません。

その後、ふーちゃんは園内のエゾフクロウ舎で他の3羽と共に暮らし始め、平穏な日々を送っているようでしたが、春になると今までにない異様な光景が…。何と、部屋の隅で3羽がギョウギョウ折り重なって抱卵しているのです。2羽に言い寄られているなんて？ どうやらふーちゃんは、ずいぶん魅力的なメスだったようです。

獣医師 M.S



絵 A.M

おびひろ動物園情報誌『Zoo Zoom おびひろ』平成27年度秋号
発行日：平成27年9月1日

編集・発行：おびひろ動物園 〒080-0846 帯広市緑ヶ丘2番地

TEL：0155-24-2437 E-mail：zoo@city.obihiro.hokkaido.jp

ホームページ：http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/zoo/

ブログ：http://www.mytokachi.jp/bp/obihirozoo/

ブログ携帯版
はコチラから



平成27年度

秋号

Zoo Zoom おびひろ



アメリカビーバーの『ビービー』（オス・13歳）

ビービーは働き者でちょっとよくばり。プールですいすい泳いだり、柳の枝をかじったり、お嫁さんのダブちゃんのために寝床を作ることも忘れません。ついエサをひとりじめしようとしてダブちゃんに叱られることもありますが、だいたい仲良く暮らしています。夜行性なのでお昼過ぎに会いにきてね～。

撮影：宮澤 龍彦

マンドリル お見合い大作戦!



マンドリルのメスがやってきた

2015年6月、日本モンキーセンターよりマンドリルのメス「サラサ」がやってきました。はるばる飛行機とトラックを乗り継ぎ、1日ばかりでやってきたサラサ。檻の中で小さな体をさらに小さくさせて不安そうな表情をしていました。しかし、あらかじめ準備していた寝室にもすんなりと移動してくれ、しっかりとエサを食べている様子も確認できました。翌日からは寝室の中をうろうろと動き回って確認したり、窓から外の景色をのぞいてみたり、飼育担当が近付いても限界まで距離を取られたり…と、しばらくは落ち着かない様子でしたが、時間をかけて徐々に環境に慣らしていきました。そうして来園から1ヶ月が過ぎるころには寝室から展示場への移動もスムーズになり、職員の姿が見えるとすぐに近くによって来るまでになりました。



おびひろ動物園のマンドリル事情

ふつう、野生のマンドリルは1頭のオスとたくさんのメスからなるハーレムと呼ばれる群れを作って暮らします。当園では2007年よりオスの「キーボー」1頭を飼育しており、メスのマンドリルが来園したのは、2003年に死亡した「ニィニィ」以来、12年ぶりのことです。キーボーは生後まもなくお母さんの育児放棄にあっけしき、飼育員による人工哺育で育ちました。その後はずっと1頭で暮らしてきたため、他のマンドリルと一緒に生活すること自体がはじめてのこと。今年で11歳になったキーボーは体もがっしりと大きくなり、すっかりオスらしくなりました。そろそろ立派な群れのリーダーになって欲しい、そんな飼育員の期待をよそに、突然あらわれたお嫁さんとの出会いをどう思っているのやら…?



お見合いからその先へ

サラサを新しい環境に慣らすと同時に、将来の繁殖を目指して、既存個体であるオスのマンドリル「キーボー」とのお見合いを行いました。お互いの相性により、仲良くなれるまでに数日かかるか、数週間か、はたまた同居不可能か…会わせてみないことにはどんな反応をするのか予想できません。実際にはサラサとキーボーの場合は（主にキーボーが）打ち解けるまでに時間がかかるタイプだったようで、顔が見えるとほえたり床をたたいたり威嚇してしまい、3歩進んで2歩下がるような状況がしばらく続きました。檻越しにお互いの顔が見える時間を

増やしながら2頭の様子を観察すること1ヶ月以上…。じっくりゆっくり関係をはぐんできているところです。いつか可愛い赤ちゃんが生まれるといいなと希望を寄せて。



似ているけど似ていない。オスとメスはこんなに違う

サラサは小柄ですが、こどもではありません。8歳になるれっきとした大人のお嬢さんです（マンドリルは生後4～5年で大人になります）。キーボーとサラサを比べると、まるで別種のサルに見えるほど。マンドリルの体はオスがメスの約2倍の大きさになり、オスは色鮮やかで派手な顔とお尻を持っているのに比べて、メスは黒っぽい色合いをしています。しかし、顔のつくりや手足の形など、似ているところもたくさんあります。オスとメスの違いをぜひじっくり比べて観察してみてください。

- ・体重: 20～30kg
- ・派手な顔・お尻
- ・大きな牙がある
- ・体重: 10～15kg
- ・地味な毛色
- ・牙はあるが小さい

Profile

名前: サラサ 性別: メス 生年月日: 2007年7月4日
出身地: 愛知県日本モンキーセンター
好きなもの: 蒸しイモ リンゴ 落花生 など



Profile

名前: キーボー 性別: オス 生年月日: 2004年3月25日
出身地: 釧路市動物園
好きなもの: サツマイモ チーズ レーズン など

